



J O F ニュース

APAN PERA OUNDATION
日本オペラ振興会会報

No.27

表紙photo：
2023年藤原歌劇団公演
(共催：新国立劇場・東京二期会)
「二人のフォスカリ」
作曲：G.ヴェルディ
指揮：田中祐子 演出：伊香修吾
写真：池上直哉



目次 • Contents

- 2 JOF お知らせ
- 3 藤原歌劇団・日本オペラ協会だより
- 4 「ファウスト」出演者インタビュー
阿部加奈子／笛田博昭／砂川涼子／伊藤貴之
- 6 「ニングル」作品紹介&インタビュー
あらすじ／「ニングル」オペラ化に寄せて：吉田雄生
インタビュー：岩田達宗／須藤慎吾／松村恒矢
- 8 公演レビュー
- 9 公演ラインアップ／新入団会員紹介
- 10 外部出演マネージメント オペラ&コンサート情報

お得で魅力一杯のJOF (日本オペラ振興会) 鑑賞会員 選べる! <JOFプレミアムシート> 2023/24シーズン ● 新規会員大好評募集中!!

藤原歌劇団・日本オペラ協会の公演がまとめてお申し込みいただける<JOFプレミアムシート>2023/24シーズンは、残り2演目をお得にご覧いただけるラストチャンス! 限定特典も盛りだくさんです。
お得なくJOFプレミアムシート>をお見逃し無く!!

* どの会員も数と期間に限りがございますので、お早めにお申込みください。
詳細は、下記チケットセンターにお問い合わせください。

会員特典

- ① 最優先でお席を確保いたします
 - ② 有料プログラム引換券を進呈
 - ③ ゲネプロ (最終舞台稽古) ・バックステージ見学へのご招待
 - ④ 所属歌手との交流会 (有料) への参加 ※年1回予定
 - ⑤ その他主催コンサートへご優待価格でのご案内 他
- * 新型コロナウイルスの流行により、現在③、④は実施を見送る場合がございます。何卒ご了承ください。

お問合せ：日本オペラ振興会チケットセンター
03-6721-0874 (平日10:00~18:00)

プレミアムシート特設ページで金額も簡単に確認いただけます。今すぐチェック!

日本オペラ振興会 検索

公益財団法人日本オペラ振興会ではご寄付・賛助会員によるご支援をお願いしております

より魅力的なオペラ公演の実施や財団の安定的な運営のため、
ご寄付・賛助会員によるご支援をお願いいたします

- ◎寄付金 ご自由な金額から、随時お申込みいただけます。
- ◎賛助会員 年会費：法人30万円から 個人10万円から
- ◎税法上の優遇措置 当振興会は公益財団法人につき、当振興会への寄付金、賛助会費に対しては、法人、個人それぞれに税法上の優遇措置が適用されます。

<お問い合わせ・資料のご請求> 日本オペラ振興会総務部 TEL 03-6721-0995 FAX 03-6721-0997 E-mail support@jof.or.jp

育成部 募集

2024年度 オペラ歌手育成部研究生 募集告知 ～オペラの未来を担う人材を募集します～

【研究生】

～実践的なオペラ歌手を育成します～

1. 修業年限 1～2年 *実力に応じてマスターコースからの受験可能
2. 募集コース

●専門コース (昼・夜コース)

モーツァルト作品を中心に、イタリア語のレチタティーヴォ稽古、音楽稽古、立ち稽古を行います。また日本のオペラ作品からアンサンブルを学び、舞台における日本語歌唱を実践します。

●マスターコース (昼・夜コース)

ベルカント時代～ヴェルディの諸作品からシェーナを採り上げ、各々のレパートリーを作ります。後期は新人育成オペラアンサンブル公演に向け、オペラ全曲の研修を行います。

入所選抜試験要項

- 入所試験日
 - <第一次募集> 2024年2月25日(日) 歌唱試験・面接試験
 - <第二次募集> 2024年3月20日(水・祝) 歌唱試験・面接試験
- 願書受付期間
 - <第一次募集> 2024年2月1日(木)～22日(木) 18:00必着
 - <第二次募集> 2024年3月1日(金)～18日(月) 18:00必着

※ 専門コースについては、オンライン受験が可能です。
詳しくはホームページからオンライン募集要項をご覧ください。



藤原歌劇団公演「トスカ」(2023年)
第16期修了 / 小林厚子 (トスカ役)
第27期修了 / 澤崎一子 (カヴァラドッソ役)



藤原歌劇団公演
「劇場のわがままな歌手たち」
(2023年)
第22期修了 / 押川浩士 (アガタ役)

日本オペラ協会公演「源氏物語」(2023年)
第9期修了 / 佐藤美枝子 (六条御息所役)



お問い合わせ先：公益財団法人日本オペラ振興会 オペラ歌手育成部

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-12-7 山田ビル2階
TEL (044)969-7197 (平日 午前10時～午後6時) FAX (044)953-8693

※ 選科生募集についてはWebサイトをご覧ください。

https://www.jof.or.jp/training

藤原歌劇団
だより



藤原歌劇団総監督
折江 忠道

ここ数年来のコロナ禍、戦争そして酷暑の異常気象と最早何が正常なのかさえも判断に苦しむ時代となりつつある昨今、オペラ界にもその余波は確実に押し寄せています。思い起こせばバブル期における舞台は外人召集歌手のラッシュに加え、絢爛豪華な舞台装置、贅を尽くした衣裳、本物のシャンデリア、はたまた動物までもが舞台上を闊歩し、まさにオペラ舞台は社会繁栄の象徴であると共に「桃源郷」と見紛うばかりの別世界でした。それがバブル崩壊以降は徐々に衰退化が始まり、コロナ厄以来の惨状は推して知るべし状態にあります。どのような状況下であろうとも変わる

ことのないのが歌手の存在そのもので、歌手こそがオペラ舞台上最後の砦と云っても過言ではありません。その中でも団員の皆さんは自己鍛錬の日々を送っています。私にとって皆さんと共に舞台作りを経験出来る喜びは如何なる苦しみをも払拭させます。

今年度の後半期の演目は9月に「二人のフォスカリ」、2024年1月、2月の東京文化会館、名古屋での「ファウスト」となります。両作品とも上演の機会に恵

まれないオペラですが、その理由はあらゆる意味で只々難しいのひと言に尽きます。「二人のフォスカリ」は歌の技術的難易度がかなり高く、書いてある音を歌う事自体が困難なうえ音楽表現も逃げ道の無い没頭追求型ともいうべき作品です。苦難の政治劇と悲痛な親子愛が余すところ無く表現されています。

一方、「ファウスト」はグラランド・オペラとして周知されていますが、このスケールの大きい作品を経済難の情勢下如何に豪華さを追求するかがテーマとなります。特に今回は省略されることの多いバレエも取り入れ、歌手、踊り子、オーケストラ、裏方が一体となったの舞台を満たす狙いがあります。人間の満足感、幸福感とは？の真理追及に一石を投じたいとの願いを込めて今後の舞台作りに進進したいと熱望しています。

団員の皆さんとお客様お一人一人のご助力と応援を心よりお願い申し上げます。

日本オペラ協会
だより



日本オペラ協会総監督
郡 愛子

コロナ禍が収まりをみせるや否や、気候変動がもたらすとされる「災害級の暑さ」と巨大台風の襲来：皆様方にはこの夏をどのようにお過ごしでしたでしょうか。

さて、本年2月にBunkamuraオーチャードホールにおいて、日本オペラ協会が総力を結集して臨んだ公演、三木稔作曲「源氏物語」（グラランドオペラ日本語版全幕の世界初演）は、よく訓練された明瞭な日本語でのハイレベルな歌い手による公演と各方面より賞賛を賜りましたが、そこを認めていただけただけことは最大の成果でした。

令和5年度は去る7月に「夕鶴」で幕を開けましたが、純粋さや理想といった言葉の重みが薄れつつある昨今、ともすれば忘れがちな普遍的価値観を喚起する意味でも、実にタイミングを得た演目であったかと存じます。二日間とも満席となり、会場のテアトロ・ジリーオ・シヨウワは終始緊張と熱気に包まれ、充実した公演となりました。

日本オペラへの指針となる「日本のオペラ・アリア選集」が昨年出版されたことにより、幅広い演目におけるアリアの選曲

が容易となったことを契機とし、昨年度より名称を《日本オペラ・日本歌曲連続演奏会》と変更させていただきましたが、その第72回が8月23、24日の両日、渋谷区文化総合センター大和田・伝承ホールで開催されました。日本歌曲の部では、歌に込められた作者の想いを表現する歌い手の感性の豊かさを、そして日本オペラのアリアの部では、その背景にドラマがあることから、場面を想定し役に成りきって歌う歌手の演技力をお楽しみいただけただけかと存じます。

本年度はこの後、2024年2月10・11・12日の三日間、めぐろパーシモンホールにおいて、倉本聰原作オペラ「ニングル」を新作初演いたします。ニングルとはアイヌ語で「小さい人」の意味ですが、倉本氏は40年ほど前のこの舞台作品で過度な自然環境の破壊が招く悲劇を既に予告しており、2020年にスタートしたSDGs（持続可能な開発目標）はこれと重なります。ぜひご来場いただきたい作品です。

ファウスト

C.グノー作曲
<オペラ全5幕>

公演に寄せて

阿部加奈子 [指揮]



©Ryota Funahashi

「ファウスト」は、今から30年近く前、オペラコーチ兼練習ピアノリストとして最初に手がけた思い出深いオペラです。その後、南仏モンペリエ国立歌劇場での副指揮者としての修行時代に再び「ファウスト」公演に携わることとなりました。「若い頃からフランスで慣れ親しんだこの魅力的なオペラ、いつか祖国の日本で指揮するよう

静寂に包まれる中で2人の内なる愛の炎が次第に燃え上がる場面は、数あるオペラのラプシードの中でも最も美しいものの一つだと思います。人の心の隙間につけ込んで背徳や悪事をそそのかす悪魔メフィストフェレス。彼によって翻弄される煩惱に満ちた人々の悲喜交々の営みを、珠玉のアリアやバレエ音楽を随所に散りばめつつ見事に描き切ったグノー。彼の敬虔な眼差しより紡ぎ出された音楽劇は、現代を生きる日本の皆さんの心にどのように響くのでしょうか。

な日が来ればよいな」という淡い夢を抱き続けていました。この度、藤原歌劇団とのご縁で実現の運びとなり、光栄であると同時に、日本を代表するオペラ歌手の方々との共演に大変身の引き締まる思いです。この作品の白眉は、何と言っても3幕終わりのマルグリットとファウストの二重唱。「生命が溢れるような感覚、生きていく」という実感を味わいたい」と願い、老ファウスト博士は若さを手にし、マルグリットに恋をします。最初は戸惑っていたマルグリットも次第に心動かされ、ついにはファウストの愛を受け入れます。夜の帳が下り、ひっそりとした

観劇される方々が、それぞれの登場人物に、またそれぞれの場面で、色々な事を感じ、時にはご自分の人生と照らし合わせ、時にはひたすら美に浸りながら、フランスが生んだグランドオペラの名作の魅力を満喫していただけます。心をより願っております。



折江総監督と

1/27 & 2/3



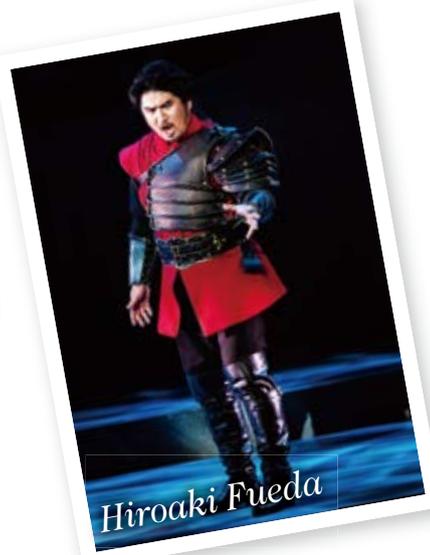
●ファウスト 笛田博昭 (テノール)

●これまで数多くの役を演じて来た笛田さんですが、笛田さんから見るとファウストの魅力は教えて下さい。

ファウストは日本で上演されることが少ない演目だと思いますし、私自身も触れたことが

ないオペラだったので、まだ未知数な部分が多いです。テノールが主役のオペラは大体若者の役が多いのですが、ファウストは1幕で老人の姿で登場し、メフィストフェレスの力を借りて若い男性に戻ります。その場面では普段あまりしないような芝居を求められると思いますので、そこはすごく楽しみです。

●笛田さんのファウストを心待ちにしている皆様へ、メッセージをお願いします！
藤原歌劇団といえばイタリアオペラのイメージですが、時々上演するフランスオペラも是非楽しんでいただきたいと思います。芝居の要素も多い役なので、歌だけではない新たな笛田博昭の側面をたくさんのお客様に見ていただけると嬉しそうです。どうぞ劇場へ足をお運びください。



Hiroaki Fueda

2025年 藤原歌劇団公演「イルトロヴァーレ」
マリッコ役

1/28

●メフィストフェレス
伊藤貴之 (バス)



●伊藤さんにとって、「メフィストフェレス」というキャラクターをどうとらえていますか？

やはり「悪魔」という皆さんがよくご存知のキャラクターが土台にはあると思います。しかしそれだけではなく、とにかく言葉が巧みで機転が効き、そして要領が良い！ どんなピンチの場面になっても魔術を使い、軽々とすり抜け、自分の思い通りに事を運んでいく。そしてセクシーであり、どこか危険な色気も漂わせている、そんなキャラクターなのかなと思います。とても人間的で、だからこそファウストはメフィストフェレスの言われるがままの行動をしてしまおうのでしょね。

学問しか研究してこなかったファウストは、メフィストフェレスのおかげで初めて本当の愛、青春を経験することが出来た。これって人間にとって一番大切なことですよ。もしかしたらメフィストフェレスは良

い人？ 良い悪魔？ そんな風にも思えてしまいます。

●今回の公演への意気込みをお願いします！

私が生まれる前の1973年、イタリア歌劇団来日公演「ファウスト」で、ニコライ・ギャウロフが歌っているメフィストフェレスに憧れて歌を本格的に勉強しようと思いました。あの色気のある声に惚れ、何度も収録されたビデオを見ました。当時、その公演の合唱は日本の合唱団だったようで、そこで歌っていた方の話では、ギャウロフの声はとにかく柔らかく温かい声だったと。巨大な声だけど繊細で柔らかくて温かい、私もそんな声を目指したいと思います。藤原歌劇団でこのような大役を歌えることを光栄に思います。これまで支えてくださった皆様に感謝して臨みたいと思います。劇場でお待ちしております！



2023年 藤原歌劇団公演「下カ」
アンジェロ役

1/27 & 2/3

●マルグリート
砂川涼子 (ソプラノ)



©Yoshinobu Fukaya

●砂川さんにとって、本作品の見所・聴き所はどこでしょうか？

ドイツの詩人・劇作家であるゲーテによる戯曲、名作「ファウスト」が原作ですが、グノーの描いた世界観も加わり、甘美でありながらドラマチックな作品となっています。

それぞれの役に、魅力的な場面がたくさんあります。私も大好きなファウストの「この清らかな住まい」、メフィストフェレスの「金の子牛の歌」「セレナード」、マルグリートの「トゥーレの王」「宝石の歌」「糸紡ぎの歌」、ジューベルの「花の歌」、ヴァランタンの「故郷を離れる前に」

2024年 日本オラ協会公演「夕鶴」
つづ役



Ryoko Sunakawa

など、美しいグノーの音楽をお楽しみください

●応援してください！

藤原歌劇団が総力をあげて、マエストロ阿部加奈子さんと共に、フランスオペラを上演いたします。日本では上演の機会の少ない「ファウスト」です。大好きなディーヴァのミレラ・フレニーさん、レナータ・スコットさんに憧れて、何度も聴いていたマルグリート役を、爽やかに歌っていただきます。

皆さまのご来場を、出演者一同お待ちしております！

2024. 1/27 (土)・28 (日) 14:00

●東京文化会館 大ホール

2024. 2/3 (土) 14:00

●Niterrra日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール

指揮…阿部加奈子 演出…タヴィデ・ガラッティエーニ・ライモンディ
ファウスト…笹田博昭 / 澤崎一了
メフィストフェレス…アレッシオ・カッチャマーニ / 伊藤貴之
マルグリート…砂川涼子 / 迫田美帆 ヴァランタン…岡 昭宏 / 井出壮志朗
シーベル…向野由美子 / 但馬由香 ヴグネル…大槻聡之介 / 高橋宏典
マルト…山川真奈 / 北園彩佳

合唱…藤原歌劇団合唱部 バレエ…NNI バレエ・アンサンブル
管弦楽…東京フィルハーモニー交響楽団 (東京)
セントラル愛知交響楽団 (愛知)

ニングル

倉本 聰 原作
渡辺俊幸 作曲
吉田雄生 オペラ脚本
〈オペラ全2幕〉

2024年
2月10日(土)・11日(日祝)・12日(月) 14時 ●めぐろパーシモンホール 大ホール

指揮：田中祐子 演出：岩田達宗
勇太（トタ）：須藤慎吾 / 村松恒矢 才三：海道弘昭 / 渡辺康 かつら：佐藤美枝子 / 光岡曉恵
ミクリ：別府美沙子 / 相楽和子 スカンボ：中桐かなえ / 井上華那 光介：杉尾真吾 / 和下大典
信次：黄木透 / 勝又康介 民吉：久保田真澄 / 泉良平 ニングルの長：江原啓之 / 山田大智
かや：丸尾有香 / 長島由佳 信子：佐藤恵利
合唱：日本オペラ協会合唱団 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

「ニングル」オペラ化に寄せて

◎吉田雄生

塾で学んだことは社会人になってもずっと役立つ。ニッポン放送では倉本先生とラジオドラマを何本か創らせていただいた。その中に「ニングル」があった。

「倉本聰先生の『ニングル』をオペラにしたいのですが、どう思いますか？」江原啓之さんからこんな相談を受けたのは、新型コロナウイルスが蔓延し誰もがこの世の中に漠とした不安を感じていた時期のことだった。正直言って初めはピンとこなかった。倉本先生の作品にとって「間」はとても重要なファクターだ。セリフの間、無言の動きや演出によって、演者の心情を観る側に委ねるシーンが多々出てくる。それに対し、オペラはすべてを歌うことで表現する。オペラにするにはちよっと難しいんじゃないだろうか、というのが本音だった。

山田太一さんには目もくれず(失礼!)倉本先生にサインをいただいた。「吉田雄生さんへ 倉本聰」と律儀に書かれたサイン本は今でも僕の宝物であり、お守りである。

その一方で、「ニングル」は現代に自然破壊を警告する作品であり、そのメッセージを今、伝えることはとても重要だという思いもあった。だからこそ、江原さんも「ニングル」のオペラ化を思いついたんだらうと推察する。とはいえ、倉本先生に「それはちよっと無理だよ」と言われる気もした。思い切った電話をする、倉本先生の答えは意外なものだった。「オペラか：僕には全く想像できないけど、やるなら、どうぞ」

今こそ、富良野は賑やかな観光地になっているが、当時の富良野はホントに何にもなかった。富良野塾は山間の谷にあって、夜になると文字通り漆黒の闇だった。短い期間だったが、僕はそこで多くのことを学んだ。とりわけ「創る」ことの厳しさと喜びを知った。「創る」は「作る」とは違う。一つ一つに徹底的にこだわる。セリフ一つ、効果音一つ、音楽一つ、それらにはすべて意味があるのだ。「創る」は地道なこだわりの積み重ねの上にある。

倉本先生曰く、「ニングル」の企画が持ち上がるときは、必ず地球に何かが起こっているときさうだからこそ、「ニングル」のオペラ化にも何かの意味がある、と。日本オペラ協会の総監督・郡愛子さんの熱意もあって「ニングル」のオペラ化の話はずんずん進んだ。そして、いつの間にか、僕がオペラの脚本を手掛けることになった。郡さんや音楽の渡辺俊幸さん、演出の岩田達示さんに様々な角度からご指導いただき、なんとか脚本を完成させることが出来た。渡辺俊幸さんの音楽は素晴らしくも、切なく、素敵だ。これが岩田さんの演出、歌手の皆さんの表現でどう可視化されるか、来年の2月の公演を僕自身も楽しみにしている。

「倉本聰先生の『ニングル』をオペラにしたいのですが、どう思いますか？」江原啓之さんからこんな相談を受けたのは、新型コロナウイルスが蔓延し誰もがこの世の中に漠とした不安を感じていた時期のことだった。正直言って初めはピンとこなかった。倉本先生の作品にとって「間」はとても重要なファクターだ。セリフの間、無言の動きや演出によって、演者の心情を観る側に委ねるシーンが多々出てくる。それに対し、オペラはすべてを歌うことで表現する。オペラにするにはちよっと難しいんじゃないだろうか、というのが本音だった。

「倉本先生曰く、「ニングル」の企画が持ち上がるときは、必ず地球に何かが起こっているときさうだからこそ、「ニングル」のオペラ化にも何かの意味がある、と。日本オペラ協会の総監督・郡愛子さんの熱意もあって「ニングル」のオペラ化の話はずんずん進んだ。そして、いつの間にか、僕がオペラの脚本を手掛けることになった。郡さんや音楽の渡辺俊幸さん、演出の岩田達示さんに様々な角度からご指導いただき、なんとか脚本を完成させることが出来た。渡辺俊幸さんの音楽は素晴らしくも、切なく、素敵だ。これが岩田さんの演出、歌手の皆さんの表現でどう可視化されるか、来年の2月の公演を僕自身も楽しみにしている。

「ニングル」のメッセージが、倉本聰先生のメッセージが、多くの人の心に届くことを願ってやまな

あらすじ

富良野岳の山裾にヒエバツという村があった。勇太や才三ら若者たちは森を伐採し、農地の新たな開拓を計画していた。勇太とかやの結婚式の夜、勇太と才三は勇太の姪のスカンボを連れて森を訪れ、そこで不思議な生き物と出逢う。15センチくらいの小さな人間。かつてアイヌの先住民たちは彼らを「ニングル」と呼んだ。ニングルは勇太と才三に告げる。「森ヲ伐ルナ、伐ッたら村ハ滅ビル」ニングルの言葉を信じる才三とニングルの存在を否定してしまう勇太。才三は村から孤立してしまっ

た。しかし、やがて村は大洪水に襲われ、豊かだった水が枯れた。増えるはずの収穫は思い通りにいかず、人々は借金に苦しめられた。ニングルの予言通り、村は破壊へと向かってしまったのだ。本当の豊かさとは、本当の幸せとは何なのか、そして人間は、「生命の木」を未来に繋ぐことができるのだろうか――。

僕がはじめて先生に対面したのは中学生の時だった。新宿紀伊国屋書店で行われた、「二大人気脚 本家・「倉本聰・山田太一」ジョイントサイン会」というイベント。僕は圧倒的な「倉本派」だったから、

僕がはじめて先生に対面したのは中学生の時だった。新宿紀伊国屋書店で行われた、「二大人気脚 本家・「倉本聰・山田太一」ジョイントサイン会」というイベント。僕は圧倒的な「倉本派」だったから、



公演に寄せて

岩田達宗
[演出]

倉本聰のドラマの中で生きる登場人物たちが私の憧れだった。

人間と人間がつくる社会のあり方に対し、時に勇気を持って立ち向かい、時に決然と背を向けた。人々に蔑まれることも、名もなく貧しいことにも、時に命を奪われることにすら挫けなかった。そこには、人間らしく生きたい、という根源的な人間のあり方への祈りと問いかけがあった。道場破りの浪人、妹と生きるマル暴の刑事、子供に海を見せてやれなかった父親、小石川療養所の医師たち、五郎、浮浪雲、そして青い血を流す人々、6羽のかもめ…彼らは私の、そして多くの日本人の心で、人間の根源を問いかけながら今も生きています。倉本聰がオペラと出会う。それが近世になってオペラと呼ばれるようになる以前の起源を遡れば3000年前の古代ギリシャの演劇にその源を持ち、人間の肉体によって人間の根源的なあり方を歌い続けたオペラが出会う。

かつて彼のドラマはどんなに悲しい終わり方としても 観終わった視聴者や観客に、そのドラマをハッピーエンドにする、あるいは変えるのはそのドラマを見た視聴者のつとめだと感じさせた。倉本聰のドラマは視聴者にいつもう、訴えていた。私は「ニンゲル」をハッピーエンドにしたい。我々はお客様にそう感じてもらえたく舞台を創らねばならない。多くのお客様と共にこの壮大な物語を幸福なものへと昇華したい。

●勇太 2/10 & 12 須藤慎吾 「バリトン」



●今回勇太役での日本オペラ協会デビューとなりますが、日本オペラに対する想いをお聞かせください。

オペラはそれぞれの言語や作曲スタイルでの歌唱はもちろんのこと、時代や文化の特色を表現することはとても重要だと考えています。日本オペラは母国のオペラなので、表現することが容易だと考えられがちなのですが、実際は日本オペラをやるたびに日本人であることを



2023年 藤原歌劇団公演「トスカ」 スカルピア役

再認識し学ぶことがたくさんあります。勇太役の台詞や彼の感情は非常に日本人らしいユニークな表現に満ちていると感じています。この新鮮な感覚をぜひ舞台上で表現したいですね。

●オペラ「ニンゲル」に込める思いと、皆様へ一言お願いいたします！
世界のすみずみまで文明が広がり、かつて存在した未開の地がファンタジーのように感じられる現代。こんな時代だからこそ、「ニンゲル」の世界を鑑賞することに大きな意義があると思います。作品が持つ熱いメッセージを、オペラという新たな形にしてお届けできればと思います。ぜひご来場ください。

●勇太 2/11 村松恒矢 「バリトン」



●日本オペラには昨シーズンの「源氏物語」に出演させていただきましたが、日本オペラの面白さはどこにあると感じられていますか？

日本語で書かれた、日本のお話を歌い、それを聞くお客様のほとんどが日本人である事です。ローマ人がカヴァラドッシという名前を聞けば、画家のカラヴァッジョを連想するように、日本人も「太郎」という名前を聞けば、どのよ

うな人物か連想できます。つまり、言語や文化を深く理解し、内容が感じ易く、同じ空間を共有できる。それが日本オペラの「面白さ」の一つだと思います。

日本オペラはまだ発展途上であり、その歴史はたった100年です。西洋の芸術と、日本の芸術がどのように融合し、日本独自の文化として昇華していくのか。これからの日本オペラの可能性も楽しみであり、「面白さ」でもあります。

●村松さんの「勇太」を楽しみにされている皆様へ、メッセージをお願いします！
倉本聰さんの作品がまさかオペラに？ 皆様も楽しみにされていると思いますが、自分もどのような舞台になるのか、今から楽しみです。幼少期に北海道に住んでおり、今もこの胸に残る北海道スピリッツは、必ずやこの作品の役に立つであろうと信じております。
出演者一丸となってこの舞台を作り上げたいと思っています。劇場でお待ちしております！



2023年 日本オペラ協会公演「源氏物語」光源氏役

公演レビュー



● 藤原歌劇団公演
G.ドニゼッティ 作曲「劇場のわがままな歌手たち」新制作
2023.4/22・23 ● テアトロ・ジューリオ・ショウワ

ドニゼッティの隠れた傑作喜劇 藤原歌劇団のユーモア溢れる舞台に抱腹絶倒!

藤原歌劇団が第15回を迎える川崎・しんゆり芸術祭「アルテリッカしんゆり2023」参加公演としてお届けしたのは、ドニゼッティのオペラ作品の中でも滅多に上演されない「劇場のわがままな歌手たち」をお届けいたしました。本作は「ヴィーヴァ・ラ・マンマ」という別名でも知られていますが、劇場付きの歌手(第二ソプラノ)の母役を初めとした全キャストが滑稽に歌い演じる本作を、藤原歌劇団が全力でこの喜劇に挑みました。その母を演じたのは、バリトンの押川浩士と三浦克次。演出の松本重孝と歌手陣の化学反応に時任康文の緻密な音楽が融合し、劇場内は笑いと感動に包まれました。



- 指揮 時任康文 ●演出 松本重孝
- 出演 ダリア(プリマドンナ): 坂口裕子/中井奈穂 ブローコロ: 久保田真澄/小野寺 光 アガタ: 押川浩士/三浦克次
ルーイジャ(第二ソプラノ): 中桐かなえ/岡田美優 グリエルモ(劇場歌手): 持木 弘/所谷直生 ビッベット(専属歌手): 吉村 恵/高橋未来子
ビスクローマ(作曲家): 大石洋史/鶴川勝也 チェーザレ(台本作家): 和下田大典/月野 進 インプレザーリオ(興業主): 坂本伸司/相沢 創
ディレットレー・デル・パルコシェニコ(総監督): 豊嶋祐壺 合唱: 藤原歌劇団合唱部 管弦楽: テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ
- スタッフ 美術: 増田寿子 衣裳: 前岡直子 照明: 成瀬一裕 舞台監督: 菅原多敢弘 他



● 日本オペラ協会公演 日本オペラシリーズNo.85
木下順二 作/團伊玖磨 作曲「夕鶴」
2023.7/1・2 ● テアトロ・ジューリオ・ショウワ

日本オペラの名作中の名作 大人気キャストによる名演が実現

日本オペラ協会が真夏にお届けしたのは、雪国が舞台の日本オペラの名作「夕鶴」を、岩田達宗による人気のプロダクションで上演いたしました。日本オペラでも定評のある柴田真郁の指揮で新たな息吹きが注がれ、つう役には日本を代表するプリマドンナのふたり、佐藤美枝子と砂川涼子が渾身の歌唱演技で鶴の化身を表現しました。また与ひょう役の藤田卓也と海道弘昭が体当たりで挑み、その他、運ず役の江原啓之と市川有一郎、惣ど役の下瀬太郎と田中大揮、こどもの城児童合唱団の総力をあげた舞台は感動と涙を誘い、客席からは大きな拍手が贈られました。



- 指揮 柴田真郁 ●演出 岩田達宗
- 出演 つう: 佐藤美枝子/砂川涼子 与ひょう: 藤田卓也/海道弘昭 運ず: 江原啓之/市川有一郎 惣ど: 下瀬太郎/田中大揮
児童合唱: こどもの城児童合唱団 管弦楽: テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ
- スタッフ 美術: 島 次郎 衣裳: 半田悦子 照明: 原中治美 舞台監督: 菅原多敢弘 児童合唱指導: 吉村温子 他



● 藤原歌劇団公演(共催: 新国立劇場・東京二期会)
G.ヴェルディ 作曲「二人のフォスカリ」新制作
2023.9/9・10 ● 新国立劇場オペラパレス

ヴェルディ初期の隠れた名作 劇的な音楽と救いのない物語に息をのむ展開

今回藤原歌劇団が新国立劇場、東京二期会の三団体合同主催でお届けしたのは、ヴェルディ初期の隠れた名作「二人のフォスカリ」をニュープロダクションで上演。本作は日本でも過去1度だけしか上演されたことのない演目で、その所以は演奏が難しい楽曲ばかりであるからと言えます。ドラマティックから技巧的なテクニックが必要となる曲の数々を、東京フィル率いる田中祐子の指揮と歌手の大健闘でこの作品を鮮やかに甦らせました。心理描写に秀でた伊香修吾の演出は、この作品の本質をモノトーンの世界観で見事に表現し、多くのお客様の心に染み渡る歴史的公演となりました。



- 指揮 田中祐子 ●演出 伊香修吾
- 出演 フランチェスコ・フォスカリ: 上江隼人/押川浩士 ヤコボ・フォスカリ: 藤田卓也/海道弘昭 ルクレツィア・コンタリーニ: 佐藤亜希子/西本真子
ヤコボ・ロレーダノ: 田中大揮/杉尾真吾 パルバリーゴ: 及川尚志/黄木 透 ピザーナ: 中桐かなえ/加藤美帆 ファンテ: 井出 司 セルヴォ: 石井敏郎
子供: 岡本 瞬/善久原僕人 合唱: 藤原歌劇団合唱部・新国立劇場合唱団・二期会合唱団 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団
- スタッフ 合唱指揮: 安部克彦 美術: 二村周作 照明: 齋藤茂男 舞台監督: 菅原多敢弘 衣裳コーディネーター: 小野寺佐恵 振付: 伊藤範子 他

Opera

■2023 グランドオペラフェスティバルin Japan
藤原歌劇団公演
「ラ・ボエーム」
G.プッチーニ作曲
指揮：柴田真郁 / 演出：岩田達宗
2023年12月8日(金) 18:30
フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)
大ホール
2023年12月16日(土) 14:00
レクザムホール(香川県県民ホール)
大ホール

■藤原歌劇団公演
「ファウスト」 ニュープロダクション
C.グノー作曲
指揮：阿部加奈子
演出：ダヴィデ・ガラッティエーニ・ライモンディ
2024年1月27日(土)・28日(日) 14:00
東京文化会館 大ホール
2024年2月3日(土) 14:00
Niterra日本特殊陶業市民会館
ビレッジホール(愛知)

■日本オペラ協会公演
「ニンゲル」 新作初演
倉本 聰 原作 / 渡辺俊幸 作曲
吉田雄生 オペラ脚本
指揮：田中祐子 / 演出：岩田達宗
2024年
2月10日(土)・11日(日・祝)・12日(月・振)
14:00
めぐろパーシモンホール 大ホール

Concert

■ 団員企画シリーズ
Autumn Concert 2023
2023年10月5日(木) 18:30
昭和音楽大学 ユリホール

■ 団員企画シリーズ
オペラ・コンチェルタンテ
「蝶々夫人」 G.プッチーニ作曲
2023年11月5日(日) 13:30
渋谷区文化総合センター大和田
さくらホール

デビューコンサート2023 vol.2
2023年11月11日(土) 14:00
イイノホール

新入団・会員 紹介 (※＝準団員・準会員より)

藤原歌劇団 正団員	 清水徹太郎(T)	 鶴川勝也(Br)*	 林 直樹(Pf)	オーディションによる	 黒川亜希子(S)*	 土井悦生(T)	日本オペラ協会 正会員	 斉田正子(S)	 砂川涼子(S)	 藤田卓也(T)	
	 田中大揮(Br)	 姫本紀子(S)*	藤原歌劇団 準団員 日本オペラ協会 準会員		 池田実来(S)	 白砂智子(S)		 高階ちひろ(S)	 中村百花(S)	 増子菜月(S)	 矢口美乃里(S)
	 柳澤乃々佳(S)	 山岸愛弥己(S)			 吉田叶倫(S)	 渡辺愛理(S)		 湯澤里帆(Ms)	 園田卓也(Br)	 平賀僚太(Bs)	オーディションによる
 石谷莉奈(Ms)	藤原歌劇団 準団員	 神藤 結(S)		 中村真由子(S)	 廣木悠代(S)	 水越仁美(S)	 進 美沙子(Ms)	 鈴木琢也(T)	日本オペラ協会 準会員	 鎌谷実芽(S)	

Schedule & Information

2024年 外部出演マネージメント (2023年10月~2024年3月)

(2023年9月20日現在) ※今後、中止・延期になる可能性がありますので予めご了承ください。

【2023年】

10/1(日)・4(水)・7(土)・9(月・祝)
「修道女アンジェリカ」/「子どもと魔法」
出演：伊藤 晴、齊藤純子、田中大揮
会場：新国立劇場 オペラバレス

10/2(月)・3(火)
東京交響楽団 音楽鑑賞教室
出演：楠野麻衣
会場：きゅりあん(品川区総合区民会館)

10/5(木)
BSおながく交差点(収録)
出演：高橋薫子
会場：Hakuju Hall

10/7(土)~10(火)
秋の三連休 ハウステンボス・釜山クルーズ
出演：藤田卓也
会場：にっぽん丸

10/7(土)
フレッシュ名曲コンサート
北区第九演奏会キャンペーンコンサート
井出壮志朗バリトンリサイタル
出演：井出壮志朗
会場：北とびあ つつじホール

10/7(土)
園田隆一郎のオペラを楽しむ方法 Vol.17
~藤沢ロッシェニ・シリーズ第3弾
「オテッロ」直前スペシャル~
出演：山本康寛
会場：藤沢市民会館 小ホール

10/11(水)・12(木)・13(金)
アウトリーチ
出演：村上敏明
会場：えぞこホール

10/16(月)
オペラ黒船~阿部正弘と謹子
出演：村上敏明
会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

10/22(日)
村上敏明&金岡淳子 デュオリサイタルvol.3
Dramatic Opera ~愛と祈り~
出演：村上敏明
会場：富山市民プラザアンサンブルホール

10/28(土)
下総院一音楽受賞者コンサート
出演：折江忠道、藤原藍子
会場：埼玉会館 大ホール

11/8(水)
没後100周年ドラ・ペヤチェピッチの歌曲と
プッチーニのオペラ・ハイライト!
出演：村上敏明
会場：五反田文化センター 音楽ホール

11/11(土)
NISSAY OPERA 2023「マクベス」
出演：伊藤貴之
会場：日生劇場

11/11(土)
大阪交響楽団第129回 名曲コンサート
死者のためのミサ曲
「レクイエム」二短調K.626
出演：渡辺 康、田中大揮
会場：ザ・シンフォニーホール

11/15(水)・18(土)・21(火)・23(木・祝)・
26(日)
「シモン・ボッカネグラ」
出演：村上敏明、須藤慎吾
会場：新国立劇場 オペラバレス

11/15(木)
ランチタイム・クラシックコンサート
出演：河野めぐみ、沢崎恵美
会場：宝くじドリーム館(東京)

11/15(水)
日本橋オペラ2023
歌劇「グスターヴォ三世」
出演：村上敏明
会場：日本橋劇場

11/16(木)
第5回オペラ名曲講座「ファウスト」
出演：澤崎一了、迫田美帆、折江忠道
会場：浦安音楽ホール

11/19(日)
いいだ音楽鑑賞会
出演：楠野麻衣
会場：飯田市民会館

11/23(木・祝)
オペラ「禅」~ZEN~ VERSION 2.0
出演：工藤翔陽、市川宥一郎
会場：金沢歌劇座

11/23(木・祝)
クラシック・キャラバン2023香川公演
クラシック音楽が世界をつなぐ
~輝く未来に向けて~
「煌めくガラ・コンサート~歌の翼に~」
出演：岡 昭宏
会場：穴吹学園ホール

11/25(土)
「カルメン」ハイライト
出演：村上敏明
会場：東急ウェリナ 大岡山

11/26(日)
藤沢市民オペラ50周年記念
G.ロッシェニ「オテッロ」
出演：平尾 啓、山本康寛
会場：藤沢市民会館 大ホール

11/29(水)
SIVEX Group
創立20周年記念パーティー
出演：村上敏明
会場：ウェスティンホテル東京 B2F ギャラクシールーム

11/30(木)
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
第365回定期演奏会「トスカ」
出演：上江隼人
会場：東京オペラシティ コンサートホール

12/3(日)
サントリー1万人の第九
出演：笛田博昭
会場：大阪城ホール

12/3(日)
日野市市制施行60周年
芸術文化の薫るまちコンサート
ベートーヴェン「第九」
出演：村上敏明
会場：ひの煉瓦ホール(日野市民会館) 大ホール

12/3(日)
横須賀芸術劇場合唱団
定期演奏会vol.50
「第九」演奏会
出演：澤崎一了
会場：横須賀芸術劇場 大劇場

12/9(土)
スペシャルクリスマスオペレッタ
喜歌劇「こうもり」
出演：村上敏明
会場：京都府民ホール アルティ

12/9(土)
リリア第九演奏会
出演：迫田美帆、渡辺 康
会場：川口総合文化センター リリア

12/9(土)
板橋区フレッシュ名曲「第九」
出演：竹内利樹
会場：板橋区立文化会館 大ホール

12/14(木)
ガーデングループ Presents
第7回オペラ歌手紅白対抗歌合戦
~声魂真剣勝負~
出演：伊藤 晴、光岡暁恵、村上敏明、上江隼人
会場：サントリーホール 大ホール

12/14(木)
新日本フィルハーモニー交響楽団
「第九」特別演奏会2023
出演：笛田博昭
会場：所沢市民文化センター ミューズ アークホール

12/15(金)
新日本フィルハーモニー交響楽団
「第九」特別演奏会2023
出演：笛田博昭
会場：横浜みなとみらい 大ホール

12/15(金)
日フィル・ソニックシティ「第九」演奏会
2023
出演：但馬由香
会場：ソニックシティ 大ホール

12/16(土)
新日本フィルハーモニー交響楽団
「第九」特別演奏会2023
出演：笛田博昭
会場：東京オペラシティ コンサートホール

12/16(土)
日本フィルハーモニー交響楽団
第393回横浜定期演奏会(第九特別演奏会)
出演：但馬由香
会場：横浜みなとみらいホール 大ホール

12/16(土)
名古屋フィルハーモニー交響楽団
「第九」演奏会2023
出演：迫田美帆
会場：Nittera日本特殊陶業市民会館 フォレストホール

12/16(土)
北区フレッシュユメ曲コンサート「第九」
出演：井出壮志朗
会場：北とびあ さくらホール

12/16(土)
市民とつくる
未来へ、一歩、コラボレーションコンサート
出演：藤原歌劇団合唱アンサンブル
会場：プリニーの市民会館(各務原市文化会館)

12/16(土)
東京労音 第133回「第九」演奏会
出演：澤崎一了、田中大輝
会場：東京文化会館 大ホール

12/17(日)
日本フィルハーモニー交響楽団
第九特別演奏会2023
出演：但馬由香
会場：サントリーホール 大ホール

12/17(日)
新日本フィルハーモニー交響楽団
「第九」特別演奏会2023
出演：笛田博昭
会場：すみだトリフォニーホール

12/17(日)
井上道義
ザ・ファイナル・カウントダウン Vol.2
～道義 最後の第九～
出演：杉尾真吾
会場：ザ・シンフォニーホール

12/18(月)
新日本フィルハーモニー交響楽団
「第九」特別演奏会2023
出演：笛田博昭
会場：サントリーホール 大ホール

12/19(火)
新日本フィルハーモニー交響楽団
「第九」特別演奏会2023
出演：笛田博昭
会場：東京オペラシティ コンサートホール

12/21(木)
2023年度GTシンフォニックコンサート
Vol.5
「オペラ・ガラ・コンサート」
出演：清水良一
会場：高崎芸術劇場 大劇場

12/22(金)
東京フィルハーモニー交響楽団
「第九」特別演奏会2023
出演：光岡暁恵、上江隼人
会場：東京オペラシティ コンサートホール

12/23(土)
東京フィルハーモニー交響楽団
Presented by Rakuten
ベートーヴェン「第九」特別演奏会
出演：光岡暁恵、上江隼人
会場：サントリーホール 大ホール

12/23(土)
For Future 巡回公演シリーズ横浜公演
出演：迫田美帆、澤崎一了
会場：横浜みなとみらいホール 大ホール

12/23(土)
「第九」年の瀬コンサート 歓喜の饗宴vol.8
出演：廣田美穂、渡辺 康
会場：ホクト文化ホール 大ホール

12/23(土)・24(日)
第8回公演 信長貴富作曲 オペラ「山と海猫」
出演：須藤慎吾
会場：まつもと市民芸術館 主ホール

12/24(日)
For Future 巡回公演シリーズ相模原公演
出演：迫田美帆、澤崎一了
会場：相模女子大学グリーンホール

12/24(日)
東京フィルハーモニー交響楽団
「第九」特別演奏会
Presented by 楽天カード
出演：光岡暁恵、上江隼人
会場：Bunkamuraオーチャードホール

12/24(日)
九州交響楽団「第九」
出演：但馬由香
会場：北九州ソレイユホール

12/25(月)
For Future 巡回公演シリーズ川崎公演
出演：迫田美帆、澤崎一了
会場：ミュウザ川崎シンフォニーホール

12/26(月)
日本フィルハーモニー交響楽団
第九特別演奏会2023
出演：笛田博昭
会場：東京芸術劇場 コンサートホール

12/27(火)
日本フィルハーモニー交響楽団
第九特別演奏会2023
出演：笛田博昭
会場：東京芸術劇場 コンサートホール

【2024年】

1/13(土)
千葉交響楽団
ニューイヤーコンサート in 2024
出演：中畑有美子
会場：市川市文化会館 大ホール

1/17(水)
ランチタイム・クラシック・コンサート
出演：村上敏明
会場：宝くじドリーム館(東京)

2/4(日)・2/8(木)・2/10(土)
「ドンパスクワレ」
出演：上江隼人
会場：新国立劇場 オペラパレス

2/17(土)
大阪交響楽団 第269回定期演奏会
「子供と魔法」
出演：井出壮志朗
会場：ザ・シンフォニーホール

2/19(月)
世田谷フィルハーモニー管弦楽団「第九」
出演：迫田美帆、向野由美子、清水徹太郎、上江隼人
会場：昭和女子大学 人見記念講堂

3/2(土)
東京音楽コンクールコンサート
出演：村上敏明
会場：東京文化会館 小ホール

3/5(火)
人吉労音例会
「エレクトーンオーケストラとオペラの世界」
出演：平野雅世、村上敏明
会場：カルチャーパレス 小ホール

3/13(水)
「カルメン」ハイライト
出演：村上敏明
会場：宝くじドリーム館(東京)

受託オペラ

10/27(金)・10/30(月)・10/31(火)
11/1(水)・11/6(月)・11/7(火)・11/8(水)
文化庁令和5年度
文化芸術による子供育成事業
一巡回公演事業一
C.L.メノッティ作曲
「助けて、助けて、宇宙人がやってきた!」
(全7回公演)
出演：中畑有美子、山邊聖美、佐藤美枝子
別府美沙子、折江忠道、持木 弘、岡 昭宏
大石洋史、市川和彦、山内政幸、牧野真由美
松原広美、和下田大典、市川宥一郎、龍 進一郎
岡山 肇、柴山秀明、安藤千尋、伊藤香織
加藤美帆、中桐かなえ、芝野遥香、高橋裕子
藤原藍子
会場：栃木県、千葉県、東京都、埼玉県、神奈川県

1/6(土)～1/8(月・祝)
にっぽん丸 オペラクルーズ
～藤原歌劇団公演「カルメン」～
出演：山川真奈、藤田卓也、市川宥一郎、別府美沙子
龍 進一郎、大石洋史、岡田美優、丸尾有香
琉子健太郎、井出 司、藤原歌劇団合唱部
高橋裕子、藤原藍子
会場：にっぽん丸 ドルフィンホール



J O F ニュース

APAN PERA OUNDATION
日本オペラ振興協会会報

No.27

表紙photo：
2023年日本オペラ協会公演
「夕鶴」
作：木下順二 作曲：團伊玖磨
指揮：柴田真郁 演出：岩田達宗
写真：池上直哉



日本オペラ振興会 公式ホームページで 随時情報更新中！

いますぐ！

日本オペラ振興会 検索

- ★藤原歌劇団・日本オペラ協会のオペラ公演はもちろん、主催コンサートや協力公演の情報も公開！
- ★お得なセット券〈プレミアムシート〉も簡単にご入会できます！
- ★JOF Blog 舞台裏レポートで、舞台のウラ側や稽古風景、育成部の授業風景などをご紹介します！
- ★オペラ鑑賞の「いろは」や、知らなかったオペラのホントを大公開！

公演チケットはオンラインチケットが便利！

24時間、どこにいても
座席指定で公演チケットが購入可能です！
オンラインチケットはこちらから →



公益財団法人日本オペラ振興会

本部：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-3-15-317 【総務】03-6721-0995 【チケットセンター】03-6721-0874 (平日10:00~18:00)
黒川事務所：〒215-0035 神奈川県川崎市麻生区黒川76-1 【事業部・制作部・広報マーケティング部】044-819-5505
新百合ヶ丘事務所：〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-12-7 山田ビル2階 【育成部】044-969-7197